学校番号	105

令和８年度　体育科

教科	体育科	科目	スポーツビルディングⅡ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	基礎から学ぶ「スポーツ概論」及びアクティブスポーツ[総合版] 大修館書店						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学校教育においては「思考力」「判断力」「表現力」を身に着けることが求められています。スポーツというのは「する」だけではなく「みる」「支える」というかかわり方があり、スポーツを多角的に分析し、スポーツの見識を幅広く深めてください。

本単元においては、自身の専攻種目を中心に、広い視野を持ちあらゆる角度からスポーツを捉えてみてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

スポーツビルディングⅠの実践およびスポーツビルディング実習・キャンプ実習の振り返りをもとにしたプレゼンテーション発表ができる技能を身につけるとともに、多様なスポーツとのかかわりについて理解する。

【思考力、判断力、表現力等】

自己実現に向けたキャリア教育の実践を通じて自己開発力を高め、より豊かなスポーツライフの実現のために課題を発見し解決、実践する思考力と判断力を養い、より高度なプレゼンテーション発表ができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたる豊かなスポーツライフを実践するために、良好なコミュニケーションを図り、仲間とともに学び合う態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	スポーツビルディングⅠで実践した「伝える力」「助け合う力」「教え合う力」に加え、「聞く力」の能力も養い、「話す力」「伝え聞く力」の実践力向上を図る。	プレゼンテーション能力向上をテーマに、人に物事を伝えるときに必要な要素である思考力・表現力を高める。また、聞き手に対しての「状況判断」も重要な要素として取り上げ、より高度なプレゼンテーション実践能力を身につける。	コミュニケーション力を高めることで、相手の立場を考えることや自己探求を行い、人間力向上を図る。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期		・スポーツにかかわるキャリア教育 ・ニュースポーツ体験 ・パラスポーツ体験 ・スポーツビジネス	a: スポーツに関するキャリア教育の知識を身につけ、レポートとしてまとめることができている。 b: 習得した情報をもとに課題を発見し仮説を立て観察し、解決方法を考察して、いかに実践するかを表現することができる。 c: データ分析や情報収集に主体的に取り組むとともに、互いに協力し、役割を分担して引き受け自己の責任を果たそうとすることができる。	観察 ワークシート パフォーマンス 課題	観察 ワークシート パフォーマンス 課題	観察 ワークシート パフォーマンス 課題
2学期		・スポーツにかかわるキャリア教育 ・ニュースポーツ体験 ・パラスポーツ体験 ・スポーツビジネス ・深層心理学 ・サービス接遇 ・コミュニケーション技法	a: スポーツに関するキャリア教育の知識を身につけ、レポートとしてまとめることができている。 b: 習得した情報をもとに課題を発見し仮説を立て観察し、解決方法を考察して、いかに実践するかを表現することができる。 c: データ分析や情報収集に主体的に取り組むとともに、互いに協力し、役割を分担して引き受け自己の責任を果たそうとすることができる。	観察 ワークシート パフォーマンス 課題	観察 ワークシート パフォーマンス 課題	観察 ワークシート パフォーマンス 課題
3学期		・スポーツにかかわるキャリア教育 ・ニュースポーツ体験 ・パラスポーツ体験	a: スポーツに関するキャリア教育の知識を身につけ、レポートとしてまとめることができている。 b: 習得した情報をもとに課題を発見し仮説を立て観察し、解決方法を考察して、いかに実践するかを表現することができる。 c: データ分析や情報収集に主体的に取り組むとともに、互いに協力し、役割を分担して引き受け自己の責任を果たそうとすることができる。	観察 ワークシート パフォーマンス 課題	観察 ワークシート パフォーマンス 課題	観察 ワークシート パフォーマンス 課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度